

地質ニュース

昭和 50 年 8 月 第 252 号 1975

解 説	高知県土佐山田町「繁藤地蔵地」の地質学的特性……………河 合 正 虎… 1
国際会議	第 9 回世界石油会議ハイライト…………… 星 野 一 男 嶋 崎 吉 彦 佐 藤 良 栄 本 座 一 昭 …… 10
	陸奥川内 MUTSUKAWAUCHI ……………21
	アメリカ合衆国立自然史博物館……………太 田 良 平…22
	兼子勝氏に勲三等旭日中綬章……………29
	海泡石の産地エスキエヒールを訪ねて ～アナトリアの旅 その1～……………河 田 清 雄…30
海外事情	中国の石油資源……………福 田 理…36
	タイの地質に関する会議 チェンマイ大学 1973 (その2)……………沢 田 秀 穂…47
	学会 掲 示 板……………28
	地 学 と 切 手……………P. Q ……35

編 集 地 質 調 査 所

表 紙 の 写 真

白 亜 紀 の 二 枚 貝 化 石

北海道の中軸帯には、白亜紀層が南北方向に広く分布している。この白亜紀層は アンモナイト(菊石類)や二枚貝の保存の良い化石を多く含んでおり、古くからいろいろと研究されてきた。そのため、北海道は、日本ではもちろん世界的にも、白亜紀層のもっとも代表的な露出地域の1つとして有名である。

写真の化石は、イノセラムス(イノケラムス)という二枚貝の化石で、この種類は *Inoceramus (Sphenoceramus) naumanni* YOKOYAMA の学名でよばれている。写真の化石は、北海道宗谷郡猿払村の西部に露出する、白亜紀後期の上部蝦夷層群から採集された。イノセラムスの化石は、世界的に白亜紀層によく産出し、日本でもアンモナイトの化石とともに、白亜紀後期の細かい時代区分に役だつ示準化石となっている。なお、写真右上にみられる放射状の模様を示す二枚貝の化石は、イノセラムスとは別の属の仲間である。

◎標本の実物は左右12cm (文 田中啓策 写真 正井義郎)

発 行 株 式 会 社 実 業 公 報 社